

コース名 「入門の入門」コース	2018年度回数 全3日6コマ	担当者 坂本彩・高田智行・武居誠
授業の内容 <p>入職3年目くらいまでの職員が対象のコースです。乳幼児から成人期を対象とする方までグループ分けなどしながら学びあいます。</p> <p>目の前で起こっている問題や悩みを発達的に読み解くとどうなるのか。その力をつけるための入り口に立てることをめざします。若手職員が目の前のことでいっぱいになっている、でもそのことに意味があることを伝える、文字通り「入門の入門」コースです。</p>		
開講計画 <p>第1回 7月1日 9:30～16:30 オリエンテーション 講師自己紹介&参加者自己紹介 講義① 「発達を学んで？」 グループワーク 「わからないこと」「印象に残ったところ」のわかちあい。 講義② 「発達の理解を実践に生かすって？」 宿題① 「次回までにこんなことをしてみよう！」 宿題② 「気になるニュースを切り抜いてこよう」</p> <p>第2回 9月2日 (学校) 9:30～12:30 + (オプション企画) 13:30～16:30 9:30～12:30 グループワーク 「これをやってみよう！」をやってみてどうだったか「わかちあい」 実践報告 PICAGIP 壁新聞づくり 「私たちの仕事と社会のつながり」 宿題 「気になったニュースをさらに掘り下げて5分間レポートにまとめる」 グループワーク 「わからないこと」「印象に残ったところ」のわかちあい。 (オプション企画) 13:30～16:30 がっちり座学で発達を学ぼう。過去参加者フォロー企画。 公開講座です。過去の入門の入門コースの参加者にも同窓会のような形で声掛けします。同じような悩み、戸惑いをもった本コースの先輩参加者の「その後どうやった？」を共有しましょう。</p> <p>第3回 12月2日 9:30～16:30 ニュース掘り下げ5分間レポート発表 ミニ講義①「私たちの仕事と社会のつながり」 実践報告 PICAGIP ミニ講義②「実践報告を受けて」 最後のわかちあい「ワールドカフェ」</p>		
その他 <p>教育実践については、教員の参加が少なく、グループワークのテーマになりにくい状況です。</p>		